

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス スマイルハ広		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 14日 ~ 2025年 2月 27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の意見等を把握する機会を設けて、お子様の情報やプログラム、支援方法や対応方法の統一が出来ていること。	日々のお子様の情報や気になった事や対応方法など情報共有できる時間を作っている。 プログラムもスタッフの意見を取り入れ新しい活動の準備を全員で行い目的の確認をしている。	職員から出たアイデアをどんどん導入していく。 支援方法、対応方法の情報共有の場をもっと増やしていく。
2	他事業所との交流の機会があること。	他事業所と定期的なイベントを開催している。 普段、関りのないお友達や場所等にも慣れる練習に取り組んでいる。	今後も交流の機会を設け、新しい活動を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日によって人員不足な時がある。	ハ広という認知度が不透明なエリアの採用に困難を感じている	採用を行っていく。

公表 児童等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス スマイル八広

公表日 2025年2月27日

利用児童
数 17名

回収数 9件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	9					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の高い支援が提供されていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と一致していると思いますか。	9					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていると思いますか。	9					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援内容が記載されていると思いますか。	8			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動している機会があると思いますか。	3		1	6		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担金等の説明が丁寧に行われていると思いますか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明が丁寧に行われていると思いますか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を実施していると思いますか。		1	2	6	あれば参加したい。	見学会や保護者様参加型のプログラムを実施予定。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について相談が行われていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていると思いますか。	9					

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の		1	2	6	あれば参加したい。 交流があれば参加してみたい。	保護者会の実施については今後の課題とし検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ	4			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、	7			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯	2			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他	6			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知さ	5			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				朝、スマイルのカードを観れるとにこにこしている。	今後も職員一同、質の高い支援を提供できるように努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表 所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童デイサービス スマイル八広		2025 年 2月 27日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切か。	5	2		人材確保、採用を継続的に行っていく。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	6	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	7				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することか。	7				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）を実施しているか。	6	1		会議にて共有をしていく。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会があるか。	7		会議にて共有し協議しています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		会議や日々の情報共有の中で意見の把握を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人研修等を行っているか。	7				
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の双方の成長を支援しているか。	7		保護者の皆さまに5領域に基づいたアセスメントを行い作成しています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援事業所と連携しているか。	7		職員間で対応方法を共有している。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿って実施されているか。	7				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いた評価を行っているか。	7				

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイ	7			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		会議の欠席者にも周知徹底をしています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	7			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる	7		支援前にはお子様の状況や体調、当日のプログラムについて打ち合わせを行っています。。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われ	6	1		退勤時間が違うため当日の振り返りは難しいが次回出勤時に確認できるように共有事項をまとめておく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・	7			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の	7			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を	7			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、	7		視覚カードを用いて自己選択や意志の確認をしています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との	7			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、	7			
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの	7			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童	6	1	生活相談員さんとの情報共有を行っています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービ	7			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応	5	2		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこども	7		他施設との交流を定期的に行っています。	

関係機関や保護者との連携

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支 援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の 参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な 説明を行っているか。	7		利用契約時に詳細な説明を行っていま す。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保 護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けて いるか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説 明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を 得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等	5	2		保護者会や見学会の開催については、 検討をします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備す るとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用する	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のた めの配慮をしているか。	7			
非 常 時 等 の 対	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事 業運営を図っているか。	7			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユア	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を	7		都度確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必	7			

 	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策に	7		日々、共有し協議や改善、対策をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組	7			